

学校経営推進費 評価報告書（1年め）

1. 事業計画の概要

学校名	YMCA 学院高等学校
取り組む課題	生徒の自立を支える教育の充実
評価指標	・健康に不安をもつ生徒へのヘルスケアを通じた中途退学率の減少
計画名	『誰もが学びをあきらめない』 ～Spirit（精神）・Mind（知性）・Body（身体）を育むヘルスケアの実践～

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<ol style="list-style-type: none"> 2 生徒理解を深め、生徒一人ひとりに添った生徒支援を実現する。 (2) 専門家や外部との連携を積極的に行う。 3 確実な進路補償の仕組みを作る。 (1) 学び直しができる仕組みを整え、進路に向き合う力を育成する。 4 開かれた学校づくりをし、生徒が活躍できる場を増やす。 (2) 生徒が主体的に関わるスクーリングや特別活動を実施する。またボランティアや生徒間交流の機会を提供する。 5 持続可能な学校とするための体制を確立させる。 (1) 社会の大きな変革の中で、新しい学校の形を探究し、社会に貢献できる学校をめざす。
事業目標	<p>『誰もが学びをあきらめないためのヘルスケアの実践』に向けた取組み目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ こころのケア（Spiritの涵養）：自分の在り方を見つめ、他者と関わる力をつける体験学習を中心としたスクーリングを実施し、人格形成や自己効力感の向上をめざします。 ■ 学びのケア（Mindの涵養）：レポートサポートをより充実させ、YMCA 学院高校のオリジナルメディア利用学習課題を新たに作成し、遠隔授業を実施、通学が困難な生徒を含めた、誰もが学びを継続できる取組みを行います。 ■ からだのケア（Bodyの涵養）：定期的な健康講座（オンライン実習含む）の実施や歩数や筋力測定によって、生徒が自分の体調を客観的に把握し、基礎体力をつけます。また生徒が相互に支えあえる関係を構築することによって、実習が継続できるような仕組みをつくります。 <p>上記を踏まえて、具体的な取組み（「わいわいカフェ」・親と子のサポートグループや、医療（関西医科大学）や福祉（公益財団法人大阪 YMCA）との連携によるチームでのヘルスケア実践、進路支援等）を実践。その結果学びをあきらめず、未来に希望を抱き、人と人とのつながりを大切する「ひとづくり」を行います。</p> <p>さらに、生徒自身がボランティア活動を通して「自己効力感」を感じられるようになることをめざします。</p> <p>また人材育成のプロセスや成果について HP での公表や学会発表を通じて社会への還元を果たします。</p>
整備した 設備・物品	パソコン、プロジェクター、プロジェクター天吊金具、ウレタンマット、折り畳み長机（低床）、液晶ディスプレイ、ビデオカメラ、三脚、ウェアラブルデバイス（スマートウォッチ）、統計ソフト SPSS
取組みの 主担・実施者	<p>主担： 生徒支援部会（教頭、主任、カウンセラー（臨床心理士）・特別支援教育コーディネーター、養護教諭、教員、アドバイザー）</p> <p>取組みの実施者： 全教員</p>

	<p>連携者： 公益財団法人大阪 YMCA・関西医科大学小児科学講座・大阪総合教育支援研究所</p>
<p>本年度の 取組内容</p>	<p>【前年度からの取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員(担任) 生徒支援会議 (4月～8月・10月～2月) ・ 関西医科大学医師によるヘルスケアに関する講演会の実施 (3月) ・ サポートグループ的グループワークの実施 (健康に不安を持つ生徒・保護者のつどい) (5月) ・ 自然の中のハイキングとワークを組み込んだ「五感で自然を感じよう」スクーリングの実施 (10・11月) <p>【新たな取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携機関(関西医科大学小児科学講座・公益財団法人大阪 YMCA)とケース会議の実施(4月以降 定期的に実施) ・ 月平均の歩数測定の開始 (10月以降毎月) ・ ウェラブルデバイス(スマートウォッチ)使用開始 (10月)。健康講座によるストレス減少を確認し動機づけとした。 ・ 健康講座(オンライン実習)(前期:15回 後期:15回 実施)※昨年度10回。内容を充実させた。 ・ ピンクシャツデーラン(2月)・チャリティーラン(3月)(リアル活動) ・ 生徒・保護者の満足度アンケート実施(9月・3月)SMB ・下肢筋力測定(9月・3月) ・ 歩数分析結果の取りまとめ、次年度への課題抽出、次年度のヘルスケア計画策定(2月) ・ 生徒の自己効力感のアンケート調査・データ分析(8月・3月)※ベースラインの測定 <p><通年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の関係・居場所づくり「わいわいカフェ」の開催 ※夕方開催 ・ 希望者にスタディサプリーを導入し、教員と生徒間の指導を実施 ・ カウンセリング ・教育相談 ・ 大阪総合教育支援研究所との連携した教員養成を実施・臨床心理士による教員向け傾聴トレーニングを実施 ・ HPに実践事例発信 ・ 15時開始の学びなおし講座・レポートサポートを実施 ・ 進学に向けた自学自習の場「進学サポート」(英・国) ※夕方開催
<p>成果の検証方法 と評価指標</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 単位修得率(修得単位数÷登録単位数)89%以上(R2年度後期87.7%) ② 中途退学率(年度退学転出者÷(年度末在籍者+年度退学転出者+前期卒業生)) (R1・R2年度平均4.67%)4.5%以下(M) ③ 下肢筋力測定(CS-30)の目標を28回に設定。各個人の初回測定から5%増。 ④ 歩数測定で8000歩を目標値とし、初回測定の5%増。(B) ⑤ 「わいわいカフェ」の利用者数、各回平均5人以上。(S)
<p>自己評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 単位修得率(単位修得人数÷単位登録者数)目標値:89%以上(R2年度後期87.7%) 結果:89.4%.....(○) (※元データは同じですが、表記を単位数→人数に変更しています。) ② 中途退学率(年度退学転出者÷(年度末在籍者+年度退学転出者+前期卒業生)) (R1・R2年度平均4.67%)4.5%以下。結果:1.5%.....(○) ③ 下肢筋力測定(CS-30)の目標を28回に設定。各個人の初回測定の105%。結果: 137%(AV19回)*測定慣れによるものも考えられる.....(○) ④ 歩数測定で8000歩を目標値とし、初回測定の105%増。結果:121%(AV4,776歩)(○) ⑤ 「わいわいカフェ」の利用者数、各回平均5人以上。結果:4.3名.....(△)
<p>次年度に向けて</p>	<p>【新たな取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オリジナルメディア学習課題の作成・実施(5月～8月・10月～12月)

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 健康講座で生徒同士が互いの取組みを継続し、関係性を深めるためピアサポートアプリの導入・健康講座回数増（6月～8月・12月～2月）・ コミュニケーション系講座を中心とする体験学習（総合科目）実施（8月・2月）・ ヘルスケアが必要な生徒を中心に据えた体育実技の実施（8月・1月）・ 希望者にスタディサプリを導入し、学習促進を促す個別面談を実施・ 研修を受けた担任による傾聴を通じた面談の実施（希望者、毎月）・ NPO 法人 D×P「クレッシェンド」と連携しグループワークを実施（自己理解・進路支援）（12月） |
|--|---|

3. 事業費報告

今年度事業費総額	2,544,508	円
----------	------------------	---

積算内訳

*決算科目(節)を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

科目(節)	番号	内訳	単価	数量	金額
1 報償費	1	講演会(生徒・保護者対象)	¥33,411	1	¥33,411
	2	健康講座講師料(2名)	¥12,000	30	¥360,000
	3	ハイキング・宿泊実習指導費(2名)	¥20,000	2	¥40,000
	4	アドバイザー料(医師、月1回)	¥200,000	1	¥200,000
	5	わいわいカフェ (ボランティア交通費、1名 年4回)	¥1,460	4	¥5,840
				小計	¥639,251
2 旅費	1				
	2				
				小計	
3 消耗需用費	1				
	2				
				小計	
4 維持需用費	1				
	2				
				小計	
5 役務費	1				
	2				
				小計	
6 委託料	1				
	2				
				小計	
7 使用料 及び賃借料	1				
	2				
				小計	
8 備品購入費	1	プロジェクター(RICHO PJ WXL5860)	¥158,000	1	¥158,000
	2	プロジェクター天吊金具	¥23,800	1	¥23,800
	3	パソコン(20Z05AV-ACPN HP_ProBook430_PC仕様 液晶ディスプレイ(オンライン時生徒把握のため))	¥115,000	1	¥115,000
	4	5PN-HW551 シャープ 4Kインフォメーションディスプレ イPN-HWシリーズ 55V型	¥132,200	1	¥132,200
	5	三脚(リモコン三脚EX-547 VIDEO II)	¥9,900	2	¥19,800
	6	ビデオカメラ(6FDR-AX60/B ソニー デジタル4Kカム HANDYCAM AX60,DJI POCKET2)	¥111,600	2	¥223,200
			¥43,182	1	¥43,182
	7	ウェアラブルデバイス(ストレス測定) vivosmart	¥12,362	30	¥370,860
	8	ウレタンマット(寝転がってワークをするため)ジョ イントクッション マット	¥223,710	1	¥223,710
	9	低床折り畳み長机(TZT-1845 1800×450×330)	¥8,200	10	¥82,000
	10	統計解析ソフトIBM SPSSライセンス(自己効力感分 析)	¥111,000	1	¥111,000
11	消費税	¥1,502,752	0.1	¥150,275	
				小計	¥1,653,027
9 工事請負費	1	プロジェクター配線工事	¥218,000	1	¥218,000
	2	現場経費・諸経費	¥11,300	1	¥11,300
	3	消費税	¥229,300	0.1	¥22,930
				小計	¥252,230
10 負担金・補助 及び交付金	1				
	2				
				小計	
				合計	¥2,544,508